



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2007.2

No. 274

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



# 「さいたま市・大宮市民の森」探鳥会

青木正俊(さいたま市)

## 《出会い》

小学生の頃からこの近所に住んでいたのですが、まだ宇都宮線の土呂駅（昔は東北本線とっていましたが）がなかったころからよく遊びに来ていました。周りは（25年以上も昔）田んぼとアシ原ばかりでしたが、野鳥に興味はまったくありませんでした。

その後結婚し、子供も生まれると今度は家族で「市民の森」に行くようになりました。

そんなある日、芝川に大砲みたいなカメラがズラーと並んでいました。「なんだろう？」と子供と近づくと親切な人がスコープで覗かせてくれました。そこには、背中がコバルトブルー、お腹はオレンジ、嘴の長い鳥がいました。

「うわー。なんて綺麗な鳥なんだろう」

「カワセミっていう鳥なんですよ」

「こんな綺麗な鳥がこんな所にいるんだ」

それからは、何度もその場所に家族で足を運びカワセミが来るのを待っていました。

## 《野鳥の会の入会と初めての探鳥会》

「ほかの場所にもいろんな綺麗な鳥がいるんじゃないかな（私）」「日本野鳥の会に入会すればそういう情報教えてくれるんじゃないの。とりあえず正俊さんだけ入会してみなさいよ（妻）」「……（私）」。

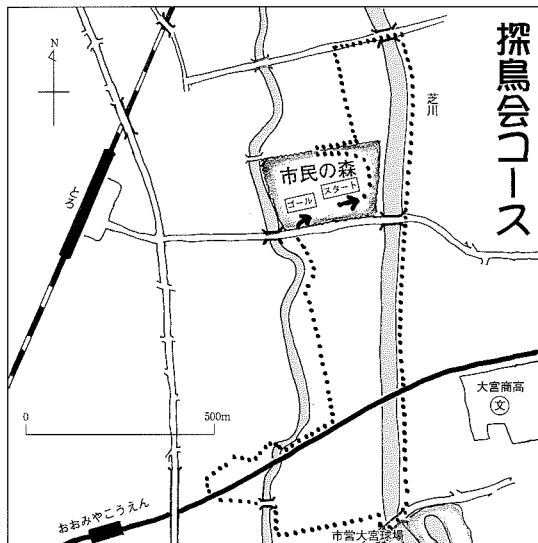
『しらこぼと』1月号が届きました。読んでみると「オオタカ？ タカって山奥に行かなきゃ見られないんじゃないの？」「探鳥会？ おい！ なんかみんなで鳥を見る機会があるんだって。ん？ あっ来月、市民の森であるよ」「へー、じゃー正俊さんだけ、様子見て来て。よかったら今度あたしも行くわ！」「……」。

ところが「あたし達も行きたいーい」と子供2人が。「じゃーいっしょに行こっか（やった!）」。

さて、当日現地に着くと、「うわー、いっぱい人がいるー。みんな望遠鏡もってるよ。子供連れもいないなー」と、どきどきしているとメインリーダーの方が「初めての方ですか？」「そうです」「じゃー、いっしょに回しましょう」。

## 《市民の森の鳥たち》

印象的だった鳥はアオジです。初めて市民の森で見た時は「なんて綺麗な色なんだろう」「お父さん。綺麗な鳥だねー」「かわいいねー」。クイナもいましたが「クイナ？ 地味だな！」「お父さん。ヤンバルクイナの親戚なのかな（鳥を知らない私たちでもヤンバルクイナの名だけは知っていました）「そこにアオジがいるんだからクイナよりアオジが見たいよー」なんて贅沢なことも言っていました。他にマヒワも出現しましたが、遠かったせいもあり、やはり近くのアオジを見てました。解散後、メインリーダーのKさんが「どう





アオジ(編集部)

でした? 今度、見沼自然公園でも探鳥会があります。是非きてくださいね。

家では子供達と図鑑で今日見た鳥をチェック。子供達は「お母さん。楽しかったよ」「そう♪ じゃーあたしも行くわ」。

それから「三室」「民家園」「見沼自然観察公園」と参加し、妻も会員となりました。

今月、2月12日(月・振替休日)に「さいたま市・大宮市民の森」探鳥会があります。私もリーダーの一人として参加します。

近年の2月の探鳥会で見られた鳥は右の表の通りです。芝川もありますので基本的な水鳥も大体お目にかかれます。太陽をバックにして見るカワセミは最高です!

春～夏は探鳥会こそありませんが、ムクドリの群れの中にコムクドリ、川にはカイツブリとバンの親子です。カイツブリの背に乗っている雛といたら・・・子供は「お父さん、1羽捕って!」「だめでしょ、三室の探鳥会でアカハラオジサンさんが説明してるでしょ!」妻が「かわいいからあたしも欲しい!」「・・・」。

### 《エピソード》

初めての探鳥会から3年以上たち、見た鳥も200種を超えました。最近数を増やすことに夢中になっていますが、私にとっては初めて見たアオジの感動を思い出させてくれる素晴らしい探鳥会です。

子供も中学生と小学校の4年生になり、今は2人ともバスケットボールに夢中(妻もいっしょに夢中)。鳥を見るのは、私1人で行く機会が増えましたが、たまには「いっしょに行きたいなー」と思っています。

No.	2月の探鳥会	03年	04年	05年	06年
1	カイツブリ	○	○	○	○
2	カワウ		○	○	○
3	ゴイサギ			○	○
4	コサギ	○	○		○
5	アオサギ			○	○
6	マガモ				○
7	カルガモ	○	○	○	○
8	コガモ	○	○	○	○
9	オカヨシガモ		○		
10	オナガガモ	○		○	○
11	ハシビロガモ	○		○	○
12	ホシハジロ	○	○	○	○
13	キンクロハジロ		○	○	
14	オオタカ			○	○
15	コジュケイ				○
16	キジ		○		
17	クイナ	○	○		
18	バン	○	○		○
19	オオバン	○			○
20	タシギ	○	○		○
21	キジバト		○	○	○
22	カワセミ		○	○	○
23	コゲラ	○	○	○	○
24	ヒバリ	○	○		○
25	ハクセキレイ	○	○	○	○
26	セグロセキレイ	○		○	○
27	タヒバリ				○
28	ヒヨドリ	○	○	○	○
29	モズ	○	○	○	○
30	ジョウビタキ	○	○	○	
31	シロハラ			○	
32	ツグミ	○	○	○	○
33	ウグイス	○		○	○
34	シジュウカラ	○	○	○	○
35	メジロ	○		○	○
36	ホオジロ	○	○	○	○
37	カシラダカ			○	○
38	アオジ		○	○	○
39	オオジュリン	○	○	○	○
40	カワラヒワ	○	○	○	○
41	マヒワ	○			
42	イカル			○	
43	シメ		○		○
44	スズメ	○	○	○	○
45	ムクドリ	○	○	○	○
46	オナガ		○		
47	ハシボソガラス	○	○	○	○
48	ハシブトガラス	○	○	○	○
	確認合計種数	30	32	34	39

# 2006年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2006年9月18日 9：30～11：25  
 場所：さいたま市 大久保農耕地  
 天候：雨時々曇り

当日は台風13号が日本海西部を北東に進んでおり、湿った空気が流れ込んだため、あいにくの天気でしたが、調査中は雨も小降りになり予定通り行うことができました。また、3連休最終日にもかかわらず、支部会員9名の協力が得られました。ご苦労様でした。

稲の刈り取りも終わり、全体的に乾いた田んぼが多い中、ムナグロは13羽しか観察されなかったものの、湿った所ではタシギが23羽

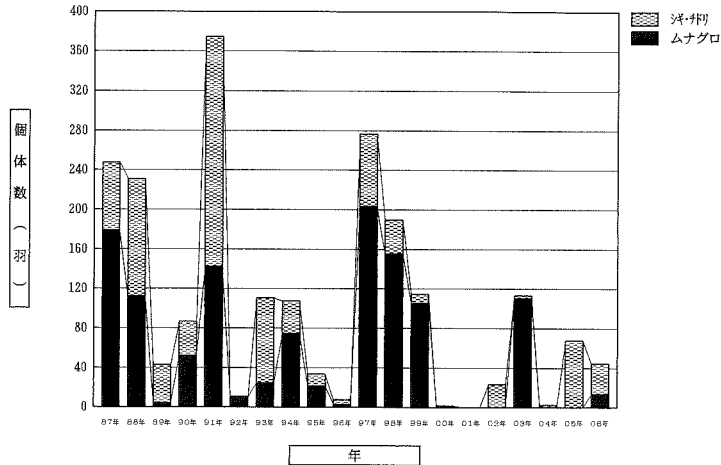
観察され、種数・個体数は4種44羽となりました。また、秋の調査では初めてアオアシシギが確認されました。

グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は秋のカウント結果をまとめたものです。

最後に、調査日前日には150羽前後のムナグロが観察されたことをつけ加えておきます。

(注) 種名不明のタシギ属は種数には入れませんでした。 (石井 智)

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	合計	
調査日	9/15	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/14	9/13	9/18	9/19	9/18		
天候	晴れ	曇り	晴れ	雨	雨	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	雨	曇り	晴れ	曇り	曇り	m.曇り	晴れ	曇り	晴れ	m.曇り		
1 タマシギ					1																	1
2 コチドリ		26						11	1		13											51
3 シロチドリ				2	2																	4
4 ムナグロ	179	112	4	52	142	10	24	74	21	3	203	155	105				110			13	1207	
5 ケリ		2																				2
6 キョウジョシギ					2																	2
7 トウネン					2		2															4
8 ヒバリシギ		1																				1
9 エリマキシギ										1	2											3
10 アオアシシギ																					5	5
11 クサシギ	1	1			1		1		1													5
12 タカブシギ	38	15		12	17						4					3			6	1		94
13 イソシギ				5		1				1												7
14 ホウロクシギ													1									1
15 コシヤクシギ												6										6
16 タシギ	29	72	38	20	185	80	19	11	1	51	24	6			17	3	1	60	23		640	
17 オオジシギ									2					1								3
18 タシギ属	2	1			8		2			1	2	1			3						2	22
19 アカヒレアシシギ					9																	9
チドリ類										1												1
シギ類												1							1	1		3
合計	247	230	42	86	374	101	107	107	33	7	275	189	114	1	0	23	113	2	67	44		2071



## 野鳥情報

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇10月26日、エゾビタキ1羽、アカゲラ♂1羽、ツツドリ若鳥。アオジ♂1羽初認。10月29日、エゾビタキ1羽、シメ、アオジ、マガモ♂♀、ジョウビタキ♂1羽♀2羽、アカハラ？など。10月30日、オオタカ1羽、北西へ。マガモ♂1羽、アカハラ2羽、キビタキ♀2羽、クロジ？1羽、ホオジロ、アオジ、ジョウビタキ2羽、シメ、ウグイス、アカゲラ♂1羽。村国池で珍しくカイツブリ1羽、バン若鳥1羽。10月31日、マガモ♂2羽♀1羽、コガモ、ヒドリガモ、ジョウビタキ、シメ、ウグイス、アカゲラ、アカハラなど。11月2日、暗い水路で水浴びするアカハラ2羽。元荒川上空でセグロカモメ成鳥初認。11月3日、カイツブリ2羽、ダイサギ1羽、マガモ♂1羽♀1羽、カルガモ30羽、ヒドリガモ30羽、コガモ35羽、バン1羽、イカルチドリ2羽、イソシギ1羽、アカゲラ(声)、コゲラ、キセキレイ1羽初認、セグロセキレイ、ジョウビタキ♀2羽、アカハラ(声)、ウグイス4羽、ヤマガラ3羽、シジュウカラ、メジロ、アオジ、シメ、カケスなど。11月4日、「キョッキョッ」の声の主を探すと樹冠でツグミ初認。飛んだら6羽いた。シロハラ初認(鈴木紀雄)。

**さいたま市岩槻区太田1丁目** ◇11月2日、「チッチッ」と高めの声があるので、室内から窓越しに外を見たら、一瞬だが、クロジ♂が見えた(鈴木紀雄)。

**さいたま市浦和区大原サッカー場付近** ◇11月6日、サッカーグラウンドを囲む桜の木にシメ、カワラヒワ、ヒヨドリと一緒に止まり、周辺の草原でカシラダカが動き回っていた。近くでモズが鳴き、上空にチョウゲンボウが羽ばたいていた(赤堀尚義)。

**さいたま市中央区上落合** ◇11月16日午前8時前、日本化薬跡地の工事現場近くの電線にウソ♂、♀。こんな住宅地のど真ん中で見るなんて！(鈴木昇)。

**川口市西新井宿** ◇11月18日、カワセミ♀1

羽、つい最近見られるようになった。環境がよくなっているのだろうか？ ツグミ20羽+、この時期は樹上に群れている事が多い。双眼鏡で見ていると首が痛くなる。クサシギ1羽、2週間近くいる。この地で越冬するのか？ 森の中は、ヒヨドリ・カケス・ツグミの3大勢力でにぎやかだ。11月23日、ルリビタキ♀1羽、2シーズンぶりに観察。ウソ5羽+、今年は各地で観察されているみたいだが、当地でも観察できた。♂は胸まで赤味を帯びていたのも、亜種アカウソか？ ソウシチョウ1羽、綺麗な鳥だが外来種。素直に喜べない。11月25日、ウソ3羽、シメと一緒にいた。この日はなぜか♀のみ。このまま当地で越冬しそうだ。カシラダカ3羽、ホオジロと一緒にいる所を草むらで観察。アカハラ、シロハラ、森の中を飛びかう。木の実を取り合い、追いかけていた(須崎聡)。

**蓮田市黒浜** ◇10月30日、療養所内でハイタカ1羽、アカハラ1羽、シメ3羽、アカゲラ(声)。10月31日、上沼でオオバン1羽、バン3羽、カイツブリ10羽、オナガガモ♂1羽、コガモなど。11月3日午後、同所でオナガガモ♂2羽、カルガモ、コガモ、バン、オオバン、カイツブリ、カワウ。北側上空を鳴きながら飛翔する小鳥、ツグミ初認。11月5日午前、同所北側葦原から「キョッキョッキョッキ」とアリスイの声。療養所内でムクノキの実に群がるツグミ、アカハラ、シロハラ。大きめの鳥も来て、トラツグミ確認。さらにアオバトも見つけた。その他、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、シメ、アオジ、ウグイス、カケスなど。元荒川に近い電線でシラコバト3羽(鈴木紀雄)。◇11月15日、療養所内でオオアカゲラ♀1羽、当地初見、シメ1羽、アオジ、シジュウカラ。カケス、今日は多く、合計30羽以上。ヒヨドリもやたらと多く、林中ヒヨドリだらけで賑やか。11月17日、同所でカケス、アオジ、ツグミ。ウソ♂3羽を見てビックリ。3m位の所にいて、逃げない。アカゲラ2羽、赤が美しい。コジュケイ8羽、10m位先に並んで、こっちを見て

いた。4～5分、「お見合い」となる。ウグイス、シジュウカラ、コゲラなど。11月23日、同所でカケス、ツグミ、アオジ、ヒヨドリが多数。シメ、ウグイス、カシラダカ、ウソ、アカゲラ、アオゲラ、アカハラ、モズ、ハクセキレイ、カワラヒワ。晩秋の晴天のもと、多くの鳥影と林に満ち溢れる声を聞き、鳥見の楽しさを味わった。上沼でカワセミ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、オオバン、モズ、カワウ、オオジュリンなど。いつもの冬の顔ぶれ(本多己秀)。

**蓮田市蓮田** ◇11月18日、自宅の庭でヤマガラ、メジロ、ウグイス、モズ、アオジ、シジュウカラ、カケス(本多己秀)。

**春日部市増田新田** ◇11月13日午前9時58分、自宅付近にエナガ 2、3羽飛来する。晴れていたが、この日は北西の季節風が強かった。遅めの出勤時に肉眼で確認した。自宅北東側の街路樹ヤマボウシの枯れ枝に北の方から飛来。少しして南へ飛び去る。シジュウカラに比べて、頭が小さく、尾が細長い。「チッ、チッ」と短く、か細い声だった。当地に住んで以来、小生にとっては初見(石川敏男)。

**春日部市赤沼** ◇11月17日午後3時頃、桃屋工場裏の古利根川の川原にカワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、イカルチドリ、イソシギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、タヒバリ、土手上にシラコバト7羽(佐藤宏)。

**菖蒲町小林** ◇11月4日、今年もいつもの場所に30羽+と60～70羽の2群、計約100羽のニューナイスズメを確認。完全に越冬場所として定着した感じ(鈴木紀雄)。

**松伏町魚沼** ◇11月18日午前9時15分、タゲリ6羽。今年も渡来しているかと注意して車を走らせていたところ鳥影が目に入り、車を止めて確認したら田んぼに降りていた(小菅靖)。

**越谷市大成町** ◇11月22日午前11時45分、ユリカモメ1羽、中川の川面をゆっくり上流に向かってとんでいた(小菅靖)。

**鴻巣市境** ◇11月4日、県道の電線でシラコバト2羽(鈴木紀雄)。



ウソ(久保田忠資)

**鴻巣市人形4丁目** ◇11月4日、自宅の2階から、100mほどのところに、高圧線があり、そこにミヤマガラスが135羽とまっていた。昼ごろから2時くらいにかけていました。鉄塔にはチョウゲンボウまでいた。大変得をした日曜日だった(内藤義雄)。

**桶川市川田谷** ◇11月13日午前9時55分、江川の田んぼにタゲリ2羽飛来、初認。「ミュー」と鳴いて飛び立ったが、また元の場所へ戻ってきた。翌日、翌々日はどこにも見あたらなかった(立岩恒久)。

**北川辺町向古河** ◇11月5日、電線のカラスをチェックしたら、ハシボソガラス約50羽の群中にミヤマガラス10数羽。うち若鳥は嘴黒く、絶壁頭でもない。口の中は赤かった。さらにコクマルガラス暗色型1羽、他のカラスに追い回されてかわいそう(鈴木紀雄)。

**渡良瀬遊水地** ◇11月5日、谷中湖に飛び込み魚を捕らえたミサゴ。タゲリ10羽がフワフワ飛ぶ。カンムリカイツブリ、カルガモ、マガモ、ヒドリガモ、コガモ、ホシハジロなどが湖面に。アイサ類はまだ。アシ原でベニマシコ、オオジュリンなど。ミサゴは全体で5羽程。午後4時前後、コチョウゲンボウ6羽確認。午後5時前、ハイロチュウヒ♂3羽、チュウヒ7羽+と舞う。暗くて早はわからなかった(鈴木紀雄)。

#### 表紙の写真

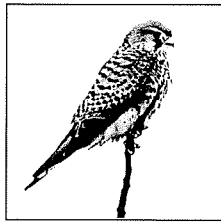
#### スズメ目ツグミ科ルリビタキ属ルリビタキ

12月10日、川口市西新井宿の森で。♂はここで私は初めての観察。2mぐらいに近寄っても逃げない。随分人懐っこい。

須崎 聡(川口市)



## 行事案内



チョウゲンボウ(鶴飼喜雄)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費:一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物:筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻:特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### 狭山市・智光山公園探鳥会

期日:2月3日(土)

集合:午前9時30分、智光山公園管理事務所前。

交通:西武新宿線狭山市駅西口から智光山公園行き9:03発バスで終点下車。

担当:石光、藤掛、久保田、山本(真)、小林(ま)

見どころ:平坦で樹木の多い公園をゆっくり歩きながら、林の鳥や池のカモを観察します。冬を彩る青い鳥、赤い鳥に逢えればうれしいですね。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日:2月4日(日)

集合:午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通:JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8:31発で「自然観察公園前」下車。

担当:浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ:この冬は里山に下りてくる小鳥が多いようです。12月の石戸宿でもウソの群れが見られました。厳しい寒さの2月は、例年、ルビビタキ、ベニマシコ、ジョウビタキが出迎えてくれます。今年は、きつとさらに多くの鳥たちが皆さんを迎えてくれることでしょう。

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

#### <差間コース>

期日:2月4日(日)

集合:午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通:JR浦和駅西口バス1番乗り場から、浦和美園駅行き8:31発、「念仏橋」下車。

後援:浦和くらしの博物館民家園

担当:手塚、伊藤(芳)、工藤、倉林、若林、新井(勇)、赤堀、藤田(敏)、須崎

見どころ:今シーズンの冬鳥の飛来は順調のようです。冬枯れのアシ原にはたくさんの冬鳥が越冬中です。ベニマシコ、ノスリ、クイナ、貴公子タグリにも会ってみたいですね。

### 嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日:2月4日(日)

集合:午前8時40分、東武東上線武蔵嵐山駅西口。または午前9時10分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。

交通:東武東上線川越8:03発、寄居8:12発に乗車。

担当:後藤、喜多、大澤、青山、新井(巖)、中村(豊)、千島、林

見どころ:大変寒さの厳しい時期ですが、ここ嵐山の探鳥会も4回目を迎えました。林の中や河原の冬鳥を皆さんで観察してみましよう。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月11日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：中里、後藤、森本、和田、大澤、倉崎、高橋（ふ）、藤田（裕）、栗原、飛田、新井（巖）、千島、鶴飼

見どころ：冬鳥の観察には今が一番良い季節。目と耳に神経を集中させて鳥たちの気配を探してみましょ。秩父の山並みの奥、真っ白な八ヶ岳をバックにタカ類が舞ってくれば最高です。

## さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月12日（月・振休）

集合：午前9時、JR 宇都宮線土呂駅東口。または午前9時20分、市民の森入り口前（駅東口から徒歩約5分、駐車場あり）。

担当：工藤、藤原、浅見、松村、有馬、赤坂、青木

見どころ：耳を澄ますと、オオジュリンがアシの茎を割る音が聞こえてきます。アシ原に隠れる臆病者のクイナにも出逢えるかもしれません。カワセミは常連です。駅から歩いていける身近な探鳥会です。お気軽にお出かけください。

## 戸田市・彩湖探鳥会

期日：2月15日（木）

集合：午前9時10分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。

交通：埼京線武蔵浦和駅東口2番バス乗り場から、下笹目行き8:43発で「彩湖道満グリーンパーク入口」下車。交差点まで戻り左折して土手を越える。

担当：倉林、松村、有馬、赤坂、新部、赤堀、馬場

見どころ：ナポレオン帽のヨシガモ、昨年は23羽でした。大空のタカたちにも期待しましょう。

## 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月17日（土）

集合：午前10時10分、森林公園南口前。

交通：東武東上線森林公園駅から、森林公園南口行き9:59発バスで終点下車。

費用：入園料400円（子供80円）

担当：喜多、藤掛、内藤、佐久間、岡安、大坂、青山、山田（義）、高橋（優）、高橋（ふ）、藤澤、中村（豊）、林、宇野澤

見どころ：水辺の鳥、山野の鳥を探して山田大沼まで歩きます。アフターは普段入れないツバキ見本園をご案内します。ご希望の方は昼食をご用意ください。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月17日（土）午後3時～4時ごろ

会場：支部事務局108号室

## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：2月18日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺（周）、若林、小菅、赤堀、新部、青木、宇野澤、増田、須崎

見どころ：今年は三室も鳥の数が多そうです。鳥を通して自然の営みの変化を感じる心を持ちたい、長期、短期の季節の変化に自然保護への小さな取り組みを始めた、そんな仲間は是非どうぞ。

## 本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：2月18日（日）

集合：午前9時10分、JR高崎線本庄駅北口。

集合後、十王バス9:20発、新伊勢崎行きで「坂東大橋南詰」下車。または午前9時30分「つきみ荘」北側集合。「つきみ荘」内には駐車できません。

担当：新井（巖）、町田、小池（一）、小池（順）倉崎、北川、小淵、鶴飼



見どころ:この冬、カモさんたちは遅れて到着したようですね、でもやっぱり坂東大橋はカモさんで持ってますよね、と言ったら、タカさんたちが怒るかも。

注意:仮設トイレはありますが、できるだけ駅などで済ませてきてください。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日:2月24日(土)

集合:午前9時30分、物見山駐車場(峠を越えた右側)。

交通:東武東上線高坂駅西口から、鳩山ニュータウン行き8:51発、9:01発で「大東文化大学前」下車、徒歩約5分(バス進行方向へ進みます)。

担当:島田、岡安、藤掛、志村、後藤、増尾、林、中村(豊)

見どころ:今年は冬の小鳥が各地で数多く見られていますね。ウソ、ミヤマホオジロ、ベニマシコ、イカルも出てくれるかな。願いが叶うよう岩殿観音にお願いしようかな。花粉も少し飛んでいますよ。

### 上尾市・丸山公園探鳥会

期日:2月24日(土)

集合:午前8時、丸山公園北口駐車場。

交通:JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から、畔吉経由西上尾車庫行き7:32発で「畔吉」下車、徒歩約8分。

担当:大坂、浅見、阿久澤(キ)、阿久澤(廣)立岩、永野(安)、永野(京)、長谷川、山野

見どころ:早朝の公園で冬鳥たちを探しましょう。可愛いジョウビタキに、アカハラ、シロハラも待っていることでしょう。土手では遠く真白き富士を眺め、オオタカの飛翔も期待しましょう。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日:2月24日(土)

集合:午前9時30分西武狭山線西武球場前駅前。

担当:石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持

丸、小林(ま)

見どころ:これまでの2月の狭山湖は冬鳥が一番期待できる時期だったのですが、季節変動が不安定な今年はどうでしょうか。カンムリカイツブリのきれいな繁殖羽は間違いなく見られることでしょう。

### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日:2月25日(日)

集合:午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口前。

担当:佐久間、高草木、志村、神場、中村(治)、中村(祐)、荒木、山田(義)、杉原、原、藤澤、持丸、山口

見どころ:春がもうそこまで来ている気配がします。北国へ帰る準備をしている鳥たちや、土手の草花を見ながら歩きましょう。

### さいたま市:岩槻文化公園探鳥会

期日:2月25日(日)

集合:午前8時35分、東武野田線岩槻駅前。または午前9時10分、文化公園「国道16号側駐車場」。

交通:東武野田線大宮8:16発柏行き、または春日部8:23発大宮行きで岩槻下車。集合後バスで現地へ。

担当:長野、玉井、田中、吉安、石川、長嶋、榎本(建)、野村(弘)、小林(善)

見どころ:昨年12月の探鳥会では、ウソ6羽やヤマガラなどを近くで見ることができました。例年2月は12月以上に盛り上がりませう。

### 深谷市・仙元山公園探鳥会

期日:2月25日(日)

集合:午前9時、JR高崎線深谷駅南口ロータリー。

担当:小池(一)、新井(巖)、大澤、倉崎、小淵、藤田(裕)、北川、鶴飼

見どころ:駅近くでカワセミを観察した後、仙元山に移動し、シロハラ、ビンズイ、アオゲラ、ルリビタキなどの冬鳥を観察します。運がよければトラツグミの可能性も。



## 行事報告

9月23日(土) 坂戸市 高麗川

参加: 35名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ オシドリ カルガモ トビ オオタカ サシバ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 34回連続出現中のカワセミとセグロセキレイが出てくれるか、気になる。セグロセキレイは天神橋上の堰付近で早くも確認できたが、モズの高鳴きばかりで、カワセミが心配になった。城山橋上の堰付近で、嘴の赤いエクリプスのオシドリ♂4羽発見に大喜びしていたら、カワセミ1羽とカイツブリ2羽と一緒に望遠鏡に入った。参加者の皆さんも喜んだが、リーダーは35回連続確認にホッとした。

(藤掛保司)

10月1日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 57名 天気: 曇

カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ オオタカ チョウゲンボウ イソシギ キジバト ツツドリ カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ オオヨシキリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 差間コースを歩いた。涼しくて秋らしい1日だったが、蚊が非常に多くまとわりついて大変だった。しかし、そのうっとうしさも、冬羽に衣替えしたノビタキ、柳の木にじっとたたずむ2羽のツツドリが晴らしてくれた。夏鳥、旅鳥、冬鳥、渡りの季節を満喫した。

(手塚正義)

10月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 38名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ アオサギ コガモ オオタカ ノスリ サシバ キジ バン キ

ジバト アマツバメ カワセミ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ モズ ノビタキ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ スズメ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) ハイライトは、タカ類。斜面林のアカマツにオオタカが舞い降りた。全員がスコープでじっくり観察。食事をした直後なのか盛んに羽繕いをし、直ぐ下の枝にカケスが来ても知らん顔。大きくてきれいな、立派な成鳥。多分メスだろう。桜堤の西、荒川上空には曇り空にもかかわらず、サシバ5~6羽のミニタカ柱。

(浅見 徹)

10月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 64名 天気: 晴

カワウ マガモ カルガモ オオタカ キジ キジバト ツツドリ アマツバメ アカゲラ コゲラ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ ヒヨドリ モズ キビタキ サメビタキ エゾビタキ コサメビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 大雨で荒川は増水し、明戸堰も濁流。しかも風がとても強かった。リーダー協議の上、明戸堰方面の途中、ゴルフ場ハウス前から河川敷に降りることにした。土手に上がると早速ツツドリが出迎えてくれた。ゴルフ場の南側を進むと、次に皆を喜ばせくれたのがエゾビタキ。更に、盛り上がったのがキビタキの雄だった。枝葉が生茂り見難かったが、それがブライント効果になったのと、強風でじっとしていてくれたのとで、皆でゆっくりと間近に見る事ができた。最終地点の広瀬河原ではカモ類は少なかったが、頭上をかすめて低空飛行するショウドウツバメは圧巻だった。コース変更による不安もあったが、目玉の秋の鳥達に出会えてほっとした。

(大澤 祐)

10月9日(月、休) さいたま市 大久保農耕地

参加: 58名 天気: 晴

カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ オナガガモ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ シロハラクイナ タシギ キジバト ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 探鳥会での初めてのシロハラクイナの出現記

録。サギは2種のみ。オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、ノビタキ。あとはひたすら田の中を歩くだけ。11時には終了。遠くに富士山の初雪のちよっぴり白い頭。鳥の数が少なく、リーダーの頭の中も真っ白。参加者の皆さんお疲れ様でした。

(福井恒人)

10月15日(日) さいたま市 三室地区

参加：90名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ オシドリ カルガモ コガモ オオタカ バン ムナグロ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 全員が青空の下で土手に上り、カワセミが小魚を獲るのを笑顔で見ている。空をオオタカ、綺麗な羽根を見せてカケスが飛ぶ。芝川の改修工事が終わったところに自然が戻って来る。田んぼの中の植木の林でヤマガラが出現、楽しい探鳥会になった。

(楠見邦博)

10月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

浅見徹、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、藤野富代、松村禎夫

10月22日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加：33名 天気：曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ アオサギ マガモ カルガモ タカsp. キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ エゾビタキ ヤマガラ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 出現鳥の数から見ると、なんだかさびしい感じがするが、中身は、探鳥会初登場のエゾビタキが胸の縦斑を見せての千両役者の働きだった。歩く先々でも姿を見せ、目立つ高枝の頂に止まり、フライキャッチしてはまた戻るのを繰り返して、参加者全員が楽しく見られ、この日はやはりカワセミ人気以上だった。おまけに同じ木にヤマガラも登場となり一望二鳥(?)。フライキャッチのおかずには赤トンボも。南下していく旅

鳥がまだ見られるというのは、カモはまだ渡ってきていないのではとの予想通りで、カモ類の姿は少なくコガモもゼロ、いささかさびしかった。天気は曇りだが、10月としては気温が高く、汗がでるほどの陽気だった。これも鳥たちの移動に関係しているのか。昨年も今年もだが、参加者からは「ジョウビタキが見たかった」との声もあり、来年のこの会は10月の末か11月の初旬にしたいと思いつつ終了した。

(内藤義雄)

10月22日(日) 川越市 西川越

参加：38名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ チョウゲンボウ バン クイナ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 公園内の池のカワセミ、カモを見てから朝の挨拶。曇の予報が晴になった。その割には鳥の出が悪い。温暖化のせいか冬鳥が少ない。それでも最後にクイナが久しぶりに出てくれた。

(佐久間博文)

11月5日(日) 上尾市 丸山公園

参加：48名 天気：曇

カイツブリ カワウ サギsp. (コサギ?) カルガモ オオタカ ハイタカ ノスリ チョウゲンボウ キジ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 晩秋にしては例年になく暖かな朝であった。初めにヤマガラが出たが、公園の紅葉はまだまだで、野鳥が少なく、池のカルガモとヒヨドリばかり。冬鳥のお出ましは絶望かと思いきや、公園を出たところでチョウゲンボウが見られ、これが切っ掛けになってオオタカ、ノスリ、ジョウビタキ、ツグミ等が出て盛り上がり、締めはカワセミ、参加者には満足してもらえたと思う。

(大坂幸男)



オオマシコ(12月24日筑波山麓の梅林で、松村禎夫)



●同封発送にご理解をお願いします

財団(本部)会員室に届いたメール。「埼玉県支部の会員ですが、野鳥誌と支部誌と一緒に送られるため、支部会員だけの人に先に支部誌が届いてしまいます。先着順の申込みに不利益になるため本部会員を辞めた人もいます。野鳥誌と支部誌は別に送って欲しいと思います。」

それに対する会員室からの返信。「支部報と野鳥誌の発送は、支部、財団事務局双方の発送コスト削減に非常に効果を発揮しております。また埼玉県支部では、事前申込みを必要とする遠出の探鳥会などがある場合は、支部報のみ受け取られる方への発送時期を遅らせるなど、できるだけ調整はしているとのこと。何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。」

前月号には事前申し込みが必要な遠出探鳥会の案内がありましたので、『しらこぼと』だけを受け取る会員の方たちへの発送を遅らせ、調整しました。

●渡良瀬遊水池の署名運動

栃木県支部からの連絡によれば、11月30日までに集まった 7884 名(うち埼玉県支部 1030

名)の署名を12月4日藤岡町長に提出し、そのことを遊水池周辺2市3町の首長に通知したとのこと。第二次、三次の集計にむけて署名活動は継続されます。引き続きよろしく。

●見沼たんぼに関する意見交換会に出席

さいたま市企画調整課主催で11月29日(水)に開催された同会に、藤掛保司支部長と、楠見邦博(三室地区探鳥会のメインリーダー)が出席しました。

●事務局の予定

2月3日(土) 編集部・普及部・研究部会議。  
2月10日(土) 3月号校正(午後4時から)。  
2月17日(土) 袋づめの会(午後3時から)。  
2月18日(日) 役員会(午後4時から)。

●会員数は

1月1日現在 2,260 人です。

活動報告

12月9日(土) 1月号校正(海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・藤掛保司・志村佐治)。  
12月17日(日) 役員会(司会:玉井正晴、埼玉県カワウ対策協議会の計画骨子案に対する意見・その他)。  
12月20日(水)1月号を支部報だけ会員向け発送(海老原美夫)。

編集後記

カモメ類の識別にはまってしまい、ウソだ、オオマシコだと賑わう山方面には目もくれず、海辺をさまよっています。しかし、カモメ類が少ない! 大晦日は銚子まで行ったのに、ユリカモメばかり。山の方がよかった……と後悔のうちに迎えた元旦、近所の川に、ホイグリンカモメが1羽、来てくれました。(みどり)

しらこぼと 2007年2月号(第274号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号  
TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/  
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
住所変更退会などの連絡先は 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608  
本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社